

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

谷山駅周辺地区

令和8年10月

鹿児島県鹿児島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県		市町村名	鹿児島市		地区名	谷山駅周辺地区			面積	15.3ha				
交付期間	令和4年度～令和7年度		事後評価実施時期	令和8年度		交付対象事業費	342.0	国费率	0.498						
1) 事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業		事業名												
			基幹事業	公園(1号公園、2号公園)、高質空間形成施設(緑化施設等(カラー舗装))											
			提案事業	地域創造支援事業(住居表示実施事業(谷山駅周辺地区))											
	当初計画 から 削除した 事業		事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	なし				-				-			
	提案事業	なし				-				-					
	新たに追加し た事業		基幹事業	なし				-				-			
			提案事業	なし				-				-			
交付期間 の変更	当 初	令和4年度～令和7年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		-									
変 更	-														
2) 都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	公園利用者数	人／日	23	R3	157	R7		262	○	あり なし	谷山駅付近に公園が開設されたことにより、地域住民のみならず駅利用者の利用も促進され、利用者数の増加につながった。	-		
	指標2	都市空間の魅力度	%	64	R3	83	R7		83	○	あり なし	道路や公園といった公共施設の整備が進み、良好な都市空間が形成されたことで、地域住民の居住環境等に対する満足度が高まった。	-		
	指標3									あり なし					
	指標4									あり なし					
	指標5									あり なし					
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の 数値指標1	住民の定住意向	%	91	R3				98			良好な都市空間の形成等により、地域住民の居住環境等に対する満足度が高まり、まちに住み続けたいと思う定住意向が高まった。	-		
	その他の 数値指標2														
その他の 数値指標3															
4) 定性的な効果 発現状況	・谷山駅前広場と連続する空間として整備された2号公園などにより、多世代の地域住民の憩いやコミュニティの場となり、賑わいが創出され、さらには地震時の退避場所の確保にもつながった。 ・幹線道路における歩道の整備により、歩行者道と自転車道が視覚的に明確に区分され、歩行者が安全に移動できる交通環境の確保に貢献した。 ・住居表示の実施により、住所が分かりやすくなり、住民の利便性が向上した。														
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	実施なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	官民連携による 取組	実施なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり 体制の構築	実施なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

谷山駅周辺地区（鹿児島県鹿児島市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：副都心にふさわしい安全・安心で魅力的な都市空間の形成 目標1：多世代の地域住民が安全・安心に暮らすことができるまちづくり 目標2：谷山駅や商業地域と一体となった魅力ある都市空間の形成		公園利用者数	単位：人／日	23	R3	157	R7	262	R8
		都市空間の魅力度	単位：％	64	R3	83	R7	83	R8
谷山駅周辺地区土地区画整理事業 		街区公園(1号公園) 							
カラー舗装整備 		街区公園(2号公園) 							
まちの課題の変化		- 公園整備により、多世代の地域住民の憩い・コミュニティの場となる公共空間や、地震時の避難場所が確保された。 - 一方で、集いの場の形成に伴い、夜間の騒音に関する要望が寄せられており、今後の課題となっている。 - 幹線道路の歩道整備により、歩行者が安全に移動できる交通環境が確保されるなど安全性が向上し、快適な生活環境が形成された。 - 一方で、住宅地周辺の交通量が増加しており、アンケートでもロードミラーなどの設置要望があることから、歩行者および車両通行の安全性確保が課題となっている。 - 住居表示の実施により、住所が分かりやすくなり、住民の利便性が向上した。							
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）		- 集いの場の形成に伴い、夜間の騒音や治安面への懸念が生じていることから、関係機関との連携により、安全で安心な環境の確保を図る。 - 土地区画整理事業の進捗に伴い、住宅地周辺の交通量が増加していることから、歩行者や車両が安全かつ快適に移動できるよう、交通安全施設の設置を検討する。							